




上越国境 天丸木山(1319.9m) (雪山 ハイキング / 谷川・武尊)

by
gekiyabu 

日程 :

2012年04月16日(日帰り)

メンバー :

gekiyabu

天候 :

晴れ

地図 :



WEB SERVICES BY 

標高グラフ :

コースタイム :

5:13 三国小学校--6:14 天丸木山--6:43 三国小学校

コース状況/その他周辺情報 :

- ・天丸木山北西尾根を往復
- ・少なくとも尾根下部は明瞭な登山道あり。ただし、残雪のため山頂まで道が続いているのか未確認
- ・植生は薄く、もし登山道が無くても無雪期登山は可能と思われる

写真 :



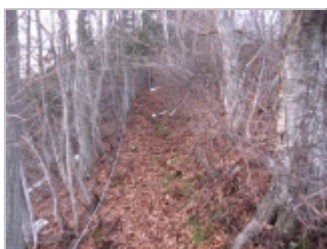
火打峠スノーシェッド入口
駐車場から出発



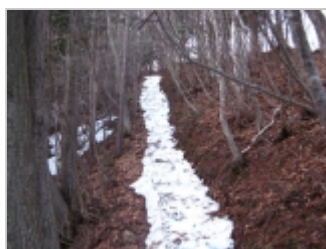
駐車場から見た北西尾根末端



三国小学校の校庭。除雪は
されておらず、雪解けを早
めるために櫛状の溝が切っ
てある



尾根の出だしにはフィック
スロープが張ってある立派
な道で驚いた



雪の上にトレース多数



鞍部に雪底発達防止用の柵
なのか板がある



まだ道は続く



トレースもまだ続く



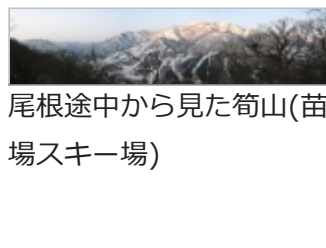
雪は断続的で続かないが植
生は薄い



再び雪が現れトレースがま
だ続く



測量棒が立つ。道は雪の下
らしい



尾根途中から見た筍山(苗
場スキー場)



落雪防止柵登場。今度のは長い



柵の両側とも残雪だが南側はうねった雪庇なので北側のでこぼこが少ない雪原を登る。1人の足跡のみ続く



柵の切れ目で稜線南側に移ると雪が消える。写真は下り方向を見ているので雪がある



柵の南側を登る。道は薄い



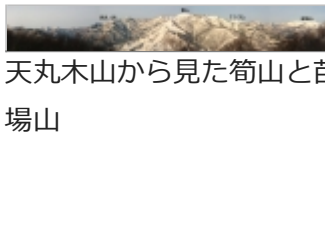
柵が終わると尾根が広がり雪原に変わる



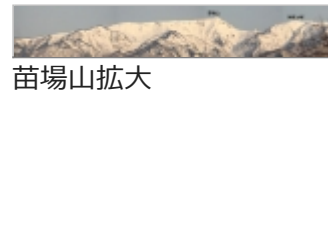
1人分の古いトレース



天丸木山山頂。標識は無い。西半分の展望良好



天丸木山から見た筍山と苗場山



苗場山拡大

感想／記録 : (by gekiyabu)

概要

国道17号線火打峠の三国小学校脇から北西尾根末端に取り付き北西尾根を登る。下部は明瞭な登山道があり、途中から積雪で道の有無は不明になったが、尾根上は国道への落雪防止柵が立ち並び、雪が消えた部分の藪は薄く、たとえ途中で道が消えても無雪期でも登れそうだった。山頂からは筍山方面の展望良好

前日の疲労が濃く残り、翌日の仕事への影響も考えて軽い山へ。帰りの経路上にある天丸木山を選んだ。事前に計画していた山ではなく地形図はないが、PCの地図を見て単純な尾根なのでGPSのバックアップがあれば地図なしでもOKと判断。登山道がある

とも思えず、地域的、標高的に考えて今ならまだ雪があるだろうと予想した。ルートとしては北西尾根末端の三国小学校を起点とするのが常識的か。

三国小学校側の国道路側は広い駐車スペースあり。最初から残雪が始まる。気温は高めで足が沈むがとりあえずそのまま進む。校庭脇の尾根に取り付くとフィックスロープが張られた立派な道が登場。予想外の事態で残雪期に来た意味が無いが、せっかくなので登り続ける。雪の残る個所ではたくさんの足跡があり、そこだけは沈まないのがありがたい。

鞍部ではやや傾いた緑色の鉄板?が登場。国道に雪が落ちるのを防ぐため、鞍部に雪庇が発達しないようにする構造物だろう。20mほどで終わって登山道に戻る。その後は登山道は微妙に尾根北側を巻くようになり、雪が残った道より無雪の尾根上が歩きやすいのでそちらに移ると踏跡があった。高度を上げると雪庇が発達するようになり残雪の範囲が増え、夏道が埋もれて見当たらなくなったのか、それとも夏道が自然消滅したのか分からなくなる。まだ足跡は雪の上に多数残っている。しかし次に登場する長い落雪防止柵が登場する頃にはトレースは消滅し、僅かに1人の古いものだけになっていた。

柵南側は大きくうねった雪庇で歩きにくいため、北側の唐松樹林の凸凹が少ない雪原を柵に沿ってトラバース、古いトレースも同じルートだった。今度の柵は長く続き、途中の切れ目で南側を覗くと南側の雪は消えて踏跡があり、こちらの方が歩きやすそうなのでルート変更。尾根下部の明瞭な道とは比較にならないくらい薄いが藪は濃くなく間違いなく踏跡と判断できる。柵終点まで雪はなく歩きやすかった。

柵が終わる場所は尾根が広がる場所で、同時に残雪が現れる場所でもあり、この先は山頂まで広い尾根が続き雪の上を歩く。緩んで踏み抜き多発だが1人の先人の足跡の上だけが沈まないで僅かな形跡の足跡を追う。すぐに平坦な山頂に到着、GPSで山頂であることの確認も行う。三角点は雪の下で見当たらず、目印等も無かった。西側は樹林が開けて苗場スキー場のある筍山、そして本家本元の苗場山が見えていた。

下山は往路を戻った。

Copyright(c) Yamareco. All Rights Reserved.
<http://www.yamareco.com/>